

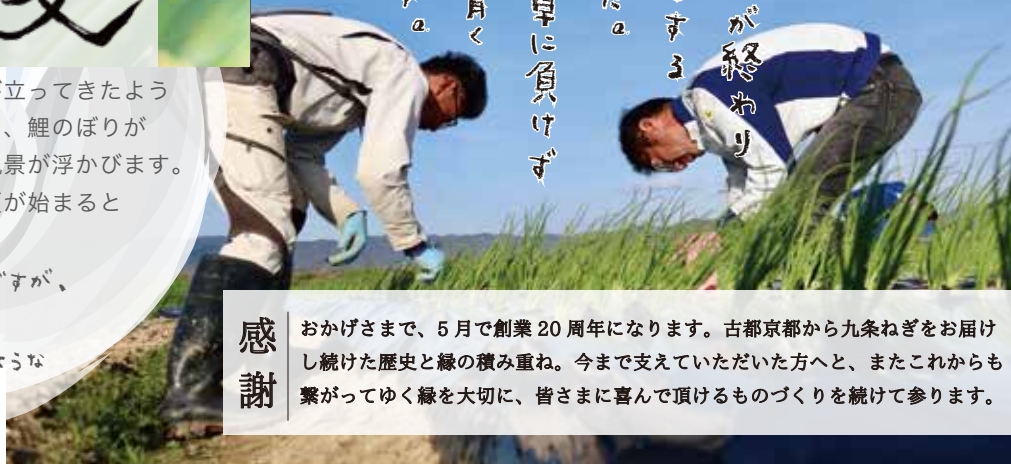
言葉で感じる季節

とねぎ

夏の始まり、夏の気配が立ってきたような時期。爽やかな青空に、鯉のぼりが気持ちよさそうに泳ぐ風景が浮かびます。昔の暦では、ここから夏が始まるとされています。

今まだ柔らかな空の色ですが、ここから青みが増していき雲がモクモクと動き出すような空模様になっていく景色が楽しみです。

桜を恋しむ季節が終り新緑がイキイキとする時期になりました。青々とした山や草に負けず畑のねぎたちも青々たくましい姿です。



感謝

おかげさまで、5月で創業20周年になります。古都京都から九条ねぎをお届けし続けた歴史と緑の積み重ね。今まで支えていただいた方へと、またこれからも繋がってゆく縁を大切に、皆さまに喜んで頂けるものづくりを続けて参ります。

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

ことねぎだより

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

勢いもあり、伸びやかな春葱のお届けです

昨年の11～12月に市内で定植したねぎたち。

収穫を迎える頃は季節も変わり、葱坊主（抽台）が上がり出すシーズン。気温があたたかくなってきた春先からはより小まめに栄養を注ぎ、美味しいものを届けられるように、と日々気にかけてながら育てました。冬からじっくり育てていたねぎたちが、春になりグングンと一気に背丈が伸びだしました。甘さや葉の厚さも兼ね備えつつ、勢いもあり伸びやかな春葱たち、春の季節とともに楽しみください。



NO.180

2022年5月号

TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社

KOTO GROUP 4A

春葱

農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

### 春の天敵・葱坊主についての対策

葱坊主が出やすいこの季節。花が咲くと葉の部分が固くなり、美味しさが損なわれてしまいます。私たちの対策として、冬の寒い時期から「春あんじょう」という葱坊主が出る時期を遅らせた品種に切り替えています。葱坊主ができるということは、残り少ない栄養分を取られていることにもなるので、栄養を切らさないように、葉に直接栄養を入れる葉面散布という作業を小まめに行ってきました。収穫を迎える時まで葱坊主が出ないようにと生育管理を行い、お客さまには美味しいねぎをお届けられるように選別しています。



5月に入ると、美山・丹後の作付けが本格稼働します！今とはまた違った九条ねぎをお届けできるように、畝立てや定植などの作業が順調に進んでいます♪

今年の春に、新しく4名の農人が加わりました！現在、収穫や定植などを行い、これからの夏に向けての体力づくりに励んでいます。

とある日の農人日記。

畝立て・定植作業を晴れ間のタイミングを見計らい進めています。日に日に陽が長くなってきてくれたおかげで、多少作業を延長しても作業が進められるのはありがたく思います。（大牧）

こと京都は「野菜を食べよう」プロジェクトのサポーター企業です

私たちは、農林水産省が実施している本プロジェクトの趣旨に賛同し、九条ねぎを通じて野菜の消費拡大に取り組みます。